魚説経でギョギョギョ

札幌市医師会
札幌清田病院
後藤　義朗（ごとう　よしろう）

オヤジギャグは顰蹙もの。一笑でその場の雰囲気を和らげようと発するスパイスなのに、周囲から、特に若者から敬遠される。ネット会議では適応せず、リアル会議でも、要点だけの発言を求められるからダジャレの余裕もなくギスギス状態だ。席の間隔を空けたマスク姿では、隣と「ひそひそ話」もできない。飛沫感染防止のため、オヤジは口を閉じて「黙話」を強いられる。

一方、音を重ねた洒落で統一すれば後世に遺る芸術もある。庶民文化の一つである狂言にも作品（曲という）がある（狂言では洒落を「秀句」と呼ぶ）。例えば、『酢薑（すはじかみ）』[1]は、酢売りと薑売りが自分の商品の宣伝をするが、酢売りは「酢」で始まる「ス」の単語を多用し、薑売りの商う薑は、山椒を指し、本体が辛いので「カラ」を使って返答する。例えば、「カラ松がある」というと、「そばにスギがある」と答え、現在の漫才のようにテンポよく、秀句を言い合う。でも、このコロナ禍では、声を出すことが問題だ。

秀句が冴える曲が『魚説経』だ（「魚説法」ともいう）。出家したばかりで説教の経験がない僧侶（新発意（しんぼち）という）が登場。元漁師なので、魚の名前を織り込んだ説教を考える。当時庶民が知っている魚ばかりだ。数えてみると93個もある[2]。一部重複するが、魚類は多彩。お馴染みの魚は、鯛、鮭、鯖、海老、蛸、烏賊、河豚、鰊、鰹、鱈，鰈。一方、川魚では鮎、泥鰌、鯰、鯉、鮒が、貝は蛤で、魚卵類も多い。（数の子以外に、鮞（ハララゴ）、カマス子、鰤子）。だが、飛魚（トビウオ）があるのにトビッコはない。イクラもないが塩蔵の鮭の卵をチグ（魚編に豕）という形にしていた。また、アカエイ、シャチ、フカ、鯱等の大きな生物も登場するが、鯨は出てこない。

『魚説経』の流れは仏事が基礎だ。民衆の笑いを誘えるのは、経文も庶民に熟知されていたからで、法華経や般若心経の一部をパロディ化する作者の力量は大きい。さらに、海鼠（ナマコ）や同属の「金海鼠（キンコ）」も採用するほど魚に精通している。「鯒（コチ）」「鯇（アメノウオ）」（サケ科の淡水魚でビワマスの別称）は筆者も初めて知る。当時、北の魚は都に届かなかったので、「ホッケ」「シシャモ」「鰰」はない。幻の魚「イトウ」もいない。蛤はあってもシジミやアサリ、北寄貝はない。サザエはあってもホタテやツブ貝はない。魚卵が多いのは、保存食として魚を余さず利用していた証だ。「鮑」は庶民の口に入ったかは不明だが、「熨斗」として、干しアワビが登場するし、生活の中には献上品に添える物として認識されていたであろう。

曲の中で登場頻度が６回と多いのは鯛と蛸（生蛸も入れて）。鯛は目出度い縁起物であること、生蛸は「なんまんだぶ」と言い換えるためだ。「鱧」も「南無阿弥陀」を「鱧阿弥陀」と言い換えるので三度出る。経を締め括る口上なので多くなる。とにかく、多数の魚が登場するので興味深い。流派により多少の異動はあるが、YouTubeで実演[3)4)]を観賞するのも一興だ。結びで、出家僧が「飛魚いたそう」と笑いながら飛んで逃げていくのも小気味よい。

なお、類似曲として、『鳥説教』があったようだ。旅僧が鳥の名前を入れた説法を行うのだが、廃曲となった[5)]。また、無知の僧が薬種の名を連ねる曲もあったことが知られており、昔の人は鳥も薬草にも精通していたことに驚く。

一方、『魚説経』の成立は江戸時代という説もあり、魚の種類が平安時代よりは数百年下るかもしれないが、庶民の知る魚名が織り込まれたことは確かだ。一方、寿司屋の茶碗にある、魚編の付く漢字125文字を解説した本も見つけた[6)]。漢字の由来と魚の形態も確かめてくると、筆者の浅薄な知識も海苔１枚ほど厚くなった。この本を利用し、東京オリンピック大会開催時の前首相の談話の一部の魚語訳を試みた。残念ながら、適合する発音の魚名が見つからず、まさにこの発想自体が「飛魚」状態だった。

『ワクチン「ウツボ（打ち）」がハゼ（始）まり…ヒガイ（世界）が大きなコイ、ナマズ（困難）に直面し、コイ（これ）をセイゴ（成功）―ハゼる（させる）。ニッポンハラタナゴ（日本）から、ハリセンボン（発信）しタイ（たい）』

これでは、サヨリ（頼り）にならない話だ。親父ギャグはホタテ（本当）に、ムシガレイ（難しい。）そうだ、魚類学者の「おさかなクン」の知恵を借りタイ（たい）が、聞いタラバガニ（たならば）、カンパチ（間髪）を入れず、ギョギョギョと返答されそうだ。

<参考>

1）「酢薑」 p169　狂言ハンドブック第３版　小林　責監修　三省堂　2017

2）「魚説経」pp409-416狂言集「新編　日本古典文学全集60　小学館　2001

3）【オンライン狂言】素狂言「魚説法」現代語訳＆英語訳／泉愼也／吉住講／KYOGEN Project　YouTubeで

4）茂山千五郎家お豆腐狂言　魚説経　其の２　YouTube

5）http://nagatabi.lolipop.jp/33.html
狂言の旅　第三十三信。ことば遊びと物づくし「魚説教」

6）江戸家魚八著　ザ教養魚へん魚講座　Racco Books 2002